

“ブリスベン2032”オリンピックに向けて

本ニュースレターは2023年末以来の再開号となります。今後、WKFの諸活動に関し、できるだけタイムリーにお伝えしていく予定です。

WKFは空手のオリンピック恒久種目化を目指して活動を続けています。

残念ながら2024パリ、2028ロスともに実施種目入りは実現していませんが、既に次のチャンス=ブリスベン2032に向けて様々なキャンペーンを展開しています。

就任間もないIOC新会長 Ms.Kirsty Coventry との面談は勿論、ブリスベン2032組織委員会（BOCOG）に対し、「空手はオリンピック種目たるに相応しいすべての条件を満たしていること、さらに武道スポーツ空手がオリンピックに新たな価値をもたらすこと」などについて訴え続けています。

今後の予定（2025年8月 BOCOG発表）

時期	内容
2025年9月	候補IFに対するBOCOG内部評価開始 (年末までにショートリスト作成)
2026年初頭	ショートリストに選定されたIFに対し、正式申請書提出を要請
2026年中頃	BOCOGよりIOCに候補種目を提案
その後	IOC総会にて最終決定

2032年はまだまだ先のこのように感じられますが、実施種目決定まで残された時間は実質この1年間です。

今後WKFの様々なオリンピックキャンペーンについてできる限り皆様にお伝えしてまいります。

ご意見、ご質問など何なりと以下にお寄せください。



2025年7月 ブリスベン BOCOG本部にて

世界空手連盟 事務総長
奈藏稔久

奈藏稔久

連絡先



nag@wkf-gs.com



090-1105-1457